



## 大願成就の象徴「光禪寺 誓いの松」の後継樹が里帰り

— 林木遺伝子銀行 110 番による巨樹・名木等のクローン増殖の取組 —

### ポイント

仇討物語が伝わる「光禪寺 誓いの松」（広島市佐伯区）の後継樹の苗木が、国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所 林木育種センター 関西育種場から里帰りします。

### 概要

国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所 林木育種センター 関西育種場（岡山県勝田郡勝央町）では、我が国の貴重な林木遺伝資源の保存を図るとともに、品種改良等に活用することを目的とした林木ジーンバンク事業を実施しています。

この事業の一環として、各地の天然記念物や巨樹・名木等の収集・保存と併せて、所有者等の要請により後継樹を増殖する取組である「林木遺伝子銀行 110 番」を行っています。

今回は、光禪寺から増殖の要請を受けた「光禪寺 誓いの松」の後継樹として、つぎ木によって増殖し育てた苗木が里帰りします。

日 時：令和4年3月9日（水曜日）13時00分～（雨天決行）

場 所：広島県広島市佐伯区五日市二丁目2-10 五葉院宝玉山 光禪寺

里帰りする苗木本数 つぎ木増殖苗 3本

### お問い合わせ先

○国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所 林木育種センター  
関西育種場（平日 8:30～17:15）

事業責任者：遺伝資源管理課 課長 坂本 庄生

担当者： 収集管理係長 山本 あゆみ

広報担当者：連絡調整課 連絡調整係長 林 勝洋

Tel：0868-38-5138 Fax：0868-38-5139

○有限会社 美鈴造園

担当者：代表取締役社長 坂根 匡

Tel：082-927-3375 Fax：082-927-3376

本資料は、広島市記者クラブに配付しています。

## 背景・経緯

全国には、学校や神社など身近な場所で地元の人々に親しまれ、ふるさとのシンボルとなっている天然記念物や巨樹・名木等が数多く存在します。こうした巨樹・名木等は、長い年月にわたって、風雪に耐え生育し続けているので、自然環境に対する適応性や抵抗性に優れている可能性が高く、林木遺伝資源として貴重なものです。

このため、林木育種センター<sup>りんぼく</sup>では、これら巨樹・名木等の収集・保存を進めるとともに、所有者等からの要請により衰弱しているこれら樹木の後継樹を増殖し、里帰りをを行う取組である「林木遺伝子銀行 110 番」を平成 15 年から実施しています。これまでに、全国から 306 件の要請があり、229 件の巨樹・名木等の後継樹の里帰りを実施してきました（令和 2 年度末）。後継樹は、さし木やつぎ木で増殖したクローン苗木であり、親木と同じ遺伝子を持っていることから二代目として大きく成長することが期待されます。

## 内容

今回里帰りする後継樹の親木である「誓いの松」（クロマツ）が植えられている光禅寺は、広島市西部、佐伯区五日市町にある古刹です。その歴史は古く、光禅寺の前身である治音寺（慈恩寺）が創建されたのは、およそ 1280 年前のことです。その後、祐仙住職が親鸞聖人の教えに帰依して光禅寺と改めてから 510 年以上になります。

延宝年間（1673-1681）、備後国から光禅寺を訪れた石井兄弟は、当時の僧 大忍に仇討ちの協力を求めました。その際に成功を誓い、祈願して植樹されたのがこの「誓いの松」です。仇討ちは見事成し遂げられ、このことは後に起きた忠臣蔵の赤穂浪士に影響を与えたと伝えられています。以来、付近の住民からは大願成就の象徴として深く愛されてきました。

近年は樹勢に衰えが見られるようになり、また周辺の松が多数マツ材線虫病によって枯れており被害を受ける恐れがあることから、万が一に備え種の保存を目的として後継樹の育成を図ることとした光禅寺より令和 2 年 1 月に林木遺伝子銀行 110 番の利用申請がありました。同年 2 月に関西育種場職員が枝を採取し、持ち帰ってすぐつぎ木を行ったところ増殖に成功しました。その後育成管理し、野外に植栽しても生育できる見込みがたった苗木 3 本を令和 4 年 3 月 9 日に里帰りさせることとなりました。

## 図、表、写真等



つぎ木増殖用の枝を採取する様子



つぎ木増殖に成功した苗



里帰りする後継樹苗木